

関西大学外国語学部 客員教授講演会

岐路に立つアメリカ＝ 国際社会の行方左右する 大統領選挙



岸田 芳樹氏

時事通信社取締役（国際担当）

2024年10月11日（金）14:40-16:10

関西大学 千里山キャンパス 第一学舎5号館 E601

概要

第二次大戦後の国際秩序を主導してきたアメリカの分断が深まる中、11月に行われる大統領選挙は、国際社会の行方を大きく左右すると言っても過言ではない。アメリカ第一主義を掲げ、同盟諸国との関係見直しを示唆する共和党のトランプ氏が、岩盤の支持基盤で振り返りを果たすのか。バイデン大統領からバトンを引き継いだハリス副大統領が無党派層の支持拡大を図り、女性初の大統領となるのか。全世界が注目する選挙戦の最新情勢、選挙結果が国際社会に及ぼす影響を分析する。

略歴

1983年、関西大学法学部卒。同大学院法学研究科修士課程、ハワイ大学大学院政治学修士課程修了後、1986年に時事通信社入社。90年代はモスクワ特派員としてソ連崩壊、これを受けた新生ロシアの外交・内政、北方領土をめぐる日ロ交渉を取材。2000年代に入ってからワシントン特派員、ワシントン支局長として、アメリカ大統領選（3回）、北朝鮮核問題やイラク戦争を取材した。外信部長などを経て18年から21年まで米国時事通信社長兼ニューヨーク総局長。23年、国際担当取締役に就任。

【お問合せ】 関西大学 外国語学部